

# 新金屋公園マネジメントプラン（概要版）

## <公園の概要>

面積：4,607㎡ 所在地：新金屋一丁目1305  
 公園種別：街区公園 用途地域：第一種住居地域  
 避難所：指定緊急避難場所（一次避難所）  
 主な施設：遊具（鉄棒、シーソー、ブランコ、滑り台、ジャングルジム、汽車トンネル、スプリング遊具）、ベンチ、あずまや、時計、トイレ（男子、女子、多目的）、水飲み器、照明

## <利用状況（意見）>

- ・児童、親子連れ、年配の方の利用があるものの人数は少ない。
- ・子供と自転車やサッカーの練習、キャッチボールで利用する。

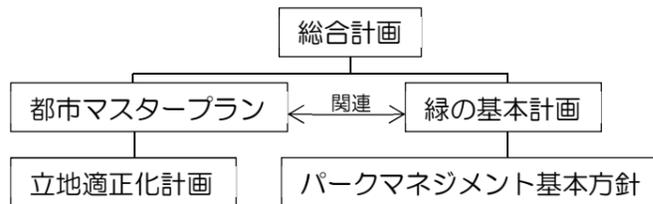
## <問題点（抜粋）>

- ・木が多過ぎて落ち葉が多い。高木で暗い部分があり、防犯上不安。
- ・北側の深い排水路は、利用上危険を感じる。
- ・駐車場が無いため、路上駐車が多い。
- ・花壇が利用されていない。
- ・外周の柵が道路除雪により損傷している。

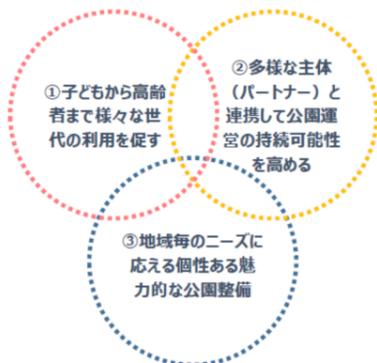
## 魚津市パークマネジメント基本方針（R1.7月策定）

基本理念 「公園で地域の魅力と価値を高める」

目指す公園像 ・人々が集い、つながりを生む公園  
 ・地域の愛着と誇りを育てる公園



【今後の公園の整備、運営にあたって重視すべき基本的な視点】



## 【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「みなおす」。



## 本江地区公園利用推進協議会

- R3.6月 第1回 趣旨説明、公園の現状、将来目指すべき姿について（意見聴取）
- 7月 第2回 公園毎の機能再編・分担の検討
- 10月 第3回 公園毎の目指すべき姿(将来像)、機能再編方針の設定  
施設毎の維持管理・改修整備方針の検討
- 12月 公園別マネジメントプラン記載内容の確認（書面）
- R4.1月 公園別マネジメントプラン修正等

公園の目指すべき姿 「様々な人・世代のコミュニティの場となる公園」（将来像）

## 機能再編方針

公園の目指すべき姿を実現するため、近隣の街区公園との機能分担や周辺施設の立地状況を踏まえ、当公園には児童向けの「遊び」の機能を集約していく方針とします。公園面積が比較的広いことから、中央部の広場は様々な目的に利用することができるフリースペースとして位置付け、外縁部は幅広い年代の方々が色々な用途に利用することの出来る公園として、公園環境の充実に努めます。

現状の利用状況を踏まえつつ、遊具等の公園施設の再配置や駐車場の新設を検討し、まちなかの居住環境の向上につながる面的な再整備を目指します。

## 公園施設毎の方針

- 遊具：点検で使用継続が困難と判断されるまでは「維持」。利用者の動線を考慮し、配置の再検討を行う。将来的には他公園の「遊び」の機能を当公園へ集約。
- 植栽：繁茂し過ぎている老朽樹木については、計画的な剪定や伐木・更新を検討。
- トイレ・あずまや：適切に管理しつつ、当面は現状維持。
- ベンチ：利用者の動線等に留意しながら再整備を検討。
- 広場：広さを生かしたフリースペースとして維持しつつ、芝生の適切な管理に努め生長促進を図る。

## 今後の取組・課題など

- ・再整備へ向けた実施設計
- ・周辺環境などの変化に応じたプランの見直し
- ・利用状況の把握、公園利用ルールの検討、多様な主体との連携手法の検討など

## 公園の持つ機能の分類

機能	施設の例など
① 遊び	複合遊具、単体遊具、砂場 ボール遊び等自由に遊べる広場
② 休養	ベンチ、あずまや、水飲み場、ピクニック広場、野外卓 開放的な植栽、緑陰
③ コミュニティ	地域活動・市民活動の場 (花壇づくり、市民農園、イベントスペース)
④ 健康づくり	ジョギングやウォーキングに適した園路、腹筋運動のできるベンチ 背伸ばし・ぶら下がり運動のできる健康遊具
⑤ スポーツ	バスケットゴール、ゲートボール場、フットサル場 スケートボード場
⑥ 防災	生垣や燃えにくい樹種の植栽、非常時に「かまど」になるベンチ マンホールトイレ、非常時にテントになるパーゴラ、防災倉庫
⑦ 自然	大規模な樹林や水路、ビオトープ 自然に触れられる散策路
⑧ 景観の形成	象徴的な都市空間や良好な街並みの形成、地域固有の景観保全・活用 (四季を感じる花木、ケヤキ並木、シンボルツリー、歴史施設関連)
⑨ 環境の保全	生物多様性の確保、ヒートアイランド現象の緩和、地域固有種の保全 (自然観察園、緑道、〇〇の森)

（再編イメージ案）

